

校章



制 定 1964年5月15日

- ペンは勉学にいそしむことをあらわしています。
- 鳩は学校のすぐ近くに建っている「小鳩の塔」の小鳩をかたどったもので、平和の願いがこめられています。
(小鳩の塔は戦争の犠牲となった慶留間の学童を祈念しています。)
- 鳩が羽ばたいているのは、本校の将来への発展性を物語っています。
- 二本のペンが堅く結びついているのは賢い団結、すなわち人の和をあらわしています。

- ◎ この校章の図案は、先輩の仲村正(昭和36年度卒)さんが考えたもので、わたしたちの誇りにしています。

校歌

制定 昭和4年(1929)

作詞・作曲 仲地 昌隆

Andante

てんじょう はるかに ゲルマの れいほう
きせんと そびゆる すがたは けだかし
すいてん ほうふつ びょうびょう ばんり
たたえよ うなぼら これたい へいよう

一 天上てんじょうはるかに 慶留間の靈峰れいほう

巍然きぜんとそびゆる姿すがたは 氣高けだかし

水天彷彿すいてんほうふつ 渺々びょうびょう万里

たたえよ海原うなぼら これ太平洋たいへいよう

二 弾丸黒子だんがんこくしの一孤島いちことう

慶留間の神かみの その名なを負おいて

高たかきと広ひろき 無言むごんの教おしえ

久遠くわんに尊とうとく輝かがやき光ひかる

三 義侠ぎぎょうの権化ごんげ 慶留間子せりうまし

人格じんかく高たかく 度量どりようは 広ひろし

鬼神きしんもおそるる 豪力ごうりき偉傑いけつ

はぐくみ 出いせし 土つちこそ 香かれ

四 信教しんきょう深く 心こころに銘めいじ

先聖せんせいおいつつ その道みちゆかん

ああ友とも棧せき 朝日あさひににおおう

我われらの使し命めいを いそしみ はたさん

五 いそしむきりん児こ 六十むそゆう余よ

万椒ばんしやう辛しんし当とう千せん一いつ騎き

太平洋たいへいようの水みづ行いくところ

母校ぼていの誉ほまれをを広ひろめよ四方よちもに